

テロン/旭D-D

登録番号	第22032号/第22029号
農薬の種類	D-D剤
農薬の名称	テロン/旭D-D

殺剤毒性	劇
------	---

実際の使用にあたりましては、農薬の登録内容を必ずラベルでご確認ください。

適用病害虫と使用方法						
作物名	適用病害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用回数
ブロッコリー、 カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20L(1穴当り 2mL)	作付の10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畧盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
はくさい、 ほうれんそう、 キャベツ						
レタス、非結球レタス、 非結球あぶらな科葉菜類、 せり科葉菜類、きゅうり、 すいか、いちご、トマト、 ミニトマト、メロン、 かぼちゃ、なす、ピーマ ン、とうがらし類、まくわ うり、だいこん、はつかだ いこん、にんじん、かぶ、 ごぼう、てんさい、 こんにゃく、さといも、 らっかせい、しょうが、 やまのいも、みょうが(花 穂)、みょうが(茎葉)、 しそ、しそ(花穂)、 バジル、うど、 薬用にんじん、食用ぎく、 オクラ、にがうり、 もりあざみ、らっきょう、 みしまさいこ、 さやいんげん、にら、 つるむらさき	ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畧盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
ねぎ	ネダ二類	20L(1穴当り 2mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畧盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
うり類(漬物用)	センチュウ類、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畧盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
だいず、えだまめ	ダイズシストセンチュウ	20L(1穴当り 2mL)				
豆類(未成熟、ただし、えだま め、さやいんげんを除く)	ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)				

作物名	適用病害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用回数
ばれいしょ	ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)			<p>1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の 畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに 所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧す る。</p> <p>2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ 予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液 を注入し直ちに覆土鎮圧する。</p>	
	ジャガイモシストセンチュウ	30～40L(1穴 当り3～4mL)				
	青枯病、そうか病	30～40L(1穴 当り3～4mL)				
	ジャガイモシロシストセン チュウ	40L(1穴当り 4mL)				
かんしょ	ネコブセンチュウ	15～30L(1穴 当り1.5～ 3mL)	作付の10～15日前 まで	1回	<p>1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の 畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに 所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧す る。</p> <p>2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ 予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液 を注入し直ちに覆土鎮圧する。</p>	1回
	ネグサレセンチュウ、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)				
茶	ネコブセンチュウ	20L(1穴当り 2mL)		1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	1回
花き類・観葉植物 (ぎくを除く)	ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)				
きく	ネグサレセンチュウ	15～40L(1穴 当り1.5～ 4mL)			<p>1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の 畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに 所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧す る。</p> <p>2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ 予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液 を注入し直ちに覆土鎮圧する。</p>	
	ネコブセンチュウ、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)				
樹木類	ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)	植付の10～15日前 まで			
すぎ(は種床)、 すぎ(床替床)、 ひのき(は種床)、 ひのき(床替床)	イシユクセンチュウ、 ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ、 コガネムシ類幼虫	15～20L(1穴 当り1.5～ 2mL)	作付の10～15日前 まで			
たばこ	ネコブセンチュウ、 ネグサレセンチュウ	20L(1穴当り 2mL)	作付の30日前まで		全面処理 耕起整地後、30cm×30cm間隔で 地表面から深さ15cmに所定量の薬液を注 入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。	
		4～6L(1穴当 り1.3～2mL)	作付の30～45日前 まで		畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後に、植 付予定位置の深さ15～20cmに所定量の薬 液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。但し、ガ ス抜きは行わないこと。	